

第 2 回 市民安全課

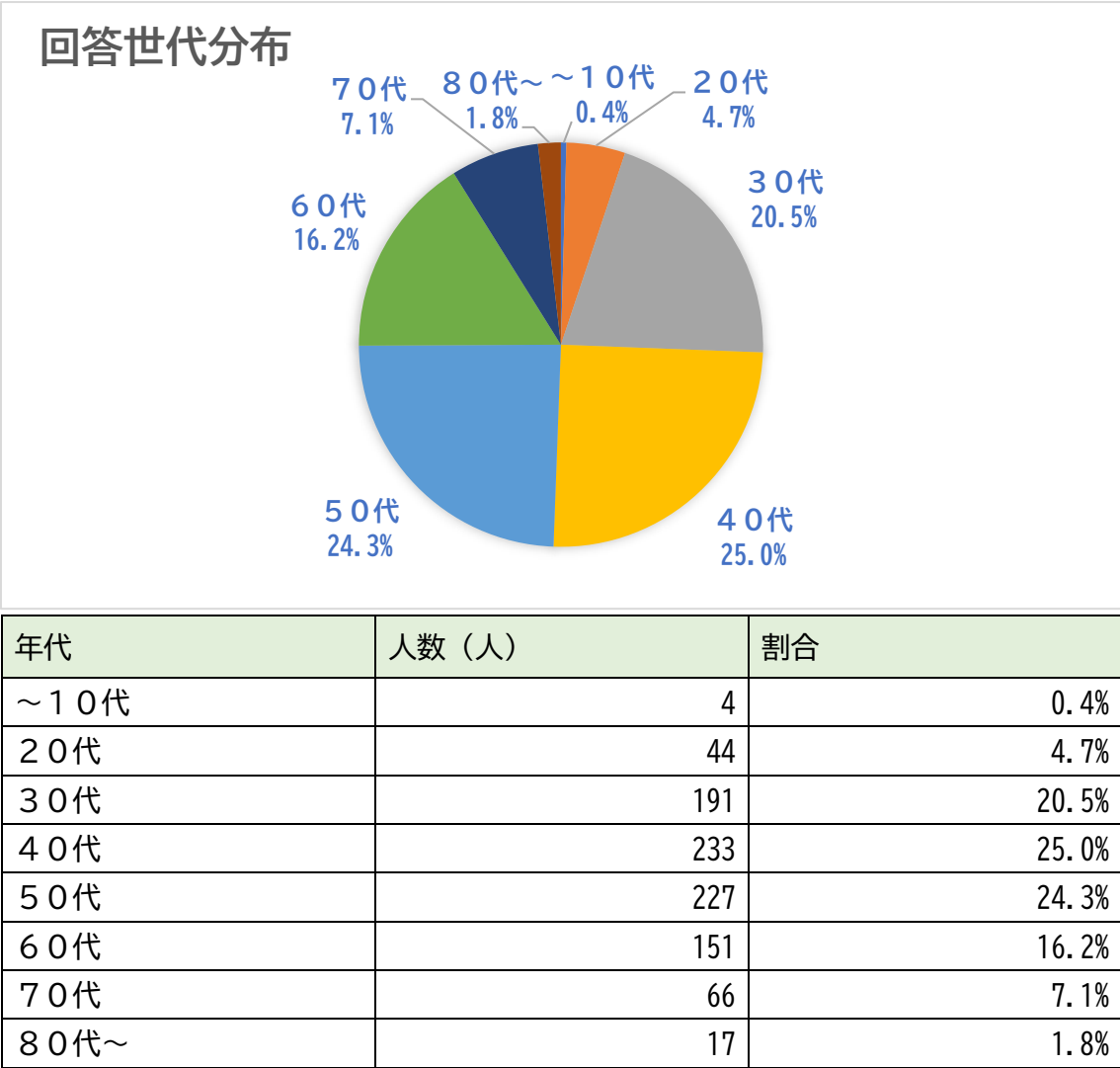
「犯罪被害者等支援について」

誰もが犯罪被害者等となる可能性がある中で、本市では、市民が安心して暮らすことができる地域社会の実現に向け、今年度安城市犯罪被害者等支援条例の策定に取り組むこととしました。

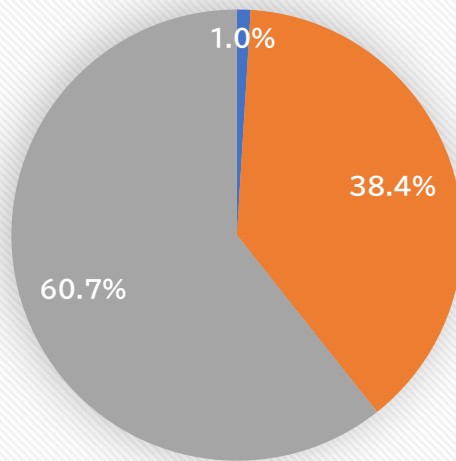
本調査により、現在の市民の犯罪被害者等支援に対する意識や関心度を調査し、本条例策定の参考にするため実施します。

※犯罪とは、殺人、暴行、強盗、詐欺、危険運転致死傷、虐待、DV、性暴力等を指します。

実施期間 令和 7 年 6 月 1 6 日（月）～ 2 3 日（月）

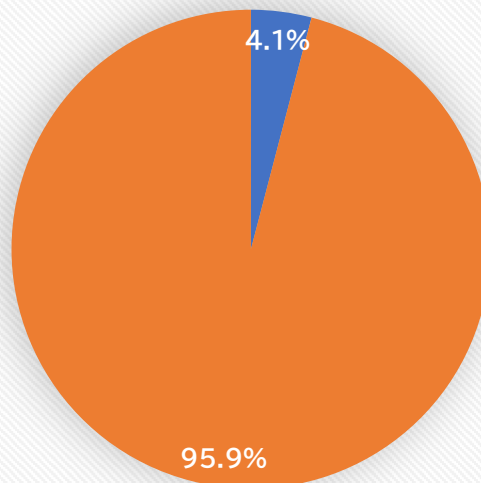


設問1:犯罪被害者及びその遺族等の権利利益の保護を目的とした犯罪被害者等基本法を知っていますか。



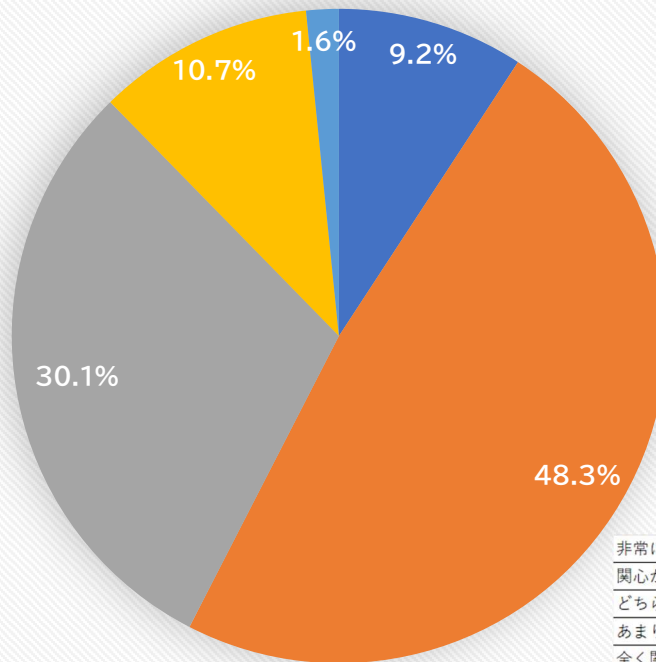
■ 内容まで知っている ■ 内容は知らないが、基本法があることは知っている ■ 知らない

設問2:安城市役所市民安全課が犯罪被害者等支援の総合窓口になっていることを知っていますか。



■ 知っている ■ 知らない

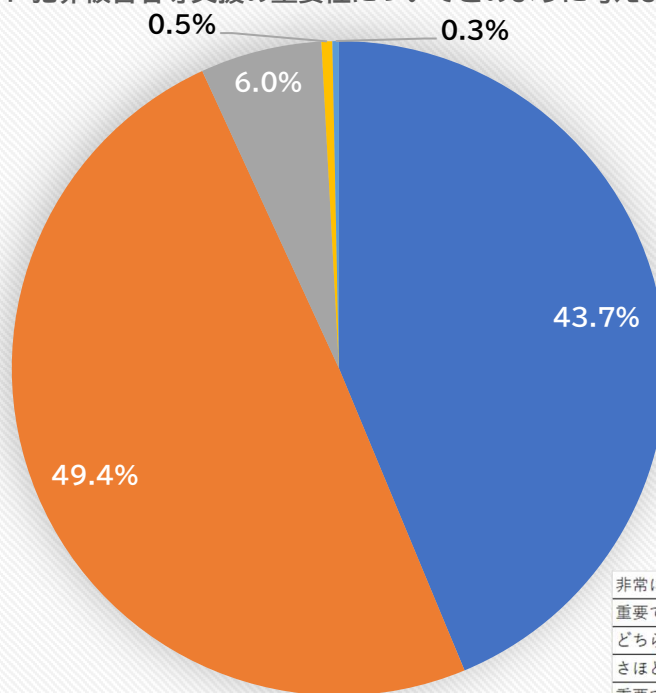
設問3:犯罪被害者等支援についてどの程度関心がありますか。



非常に関心がある	86
関心がある	451
どちらともいえない	281
あまり関心がない	100
全く関心がない	15

■非常に関心がある ■関心がある ■どちらともいえない ■あまり関心がない ■全く関心がない

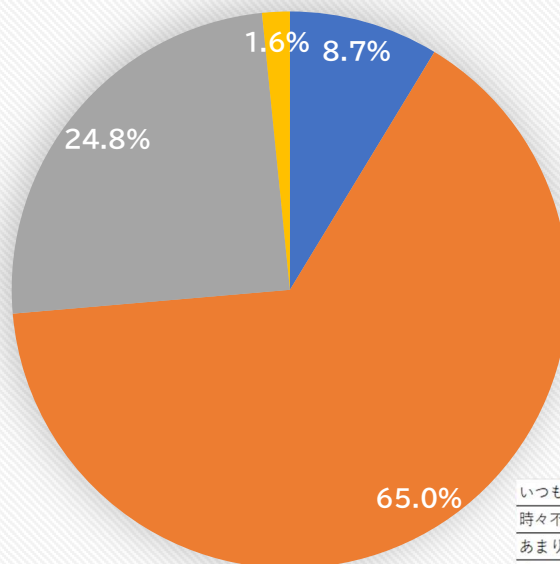
設問4:犯罪被害者等支援の重要性についてどのように考えますか。



非常に重要である	408
重要である	461
どちらともいえない	56
さほど重要ではない	5
重要ではない	3

■非常に重要である ■重要である ■どちらともいえない ■さほど重要ではない ■重要ではない

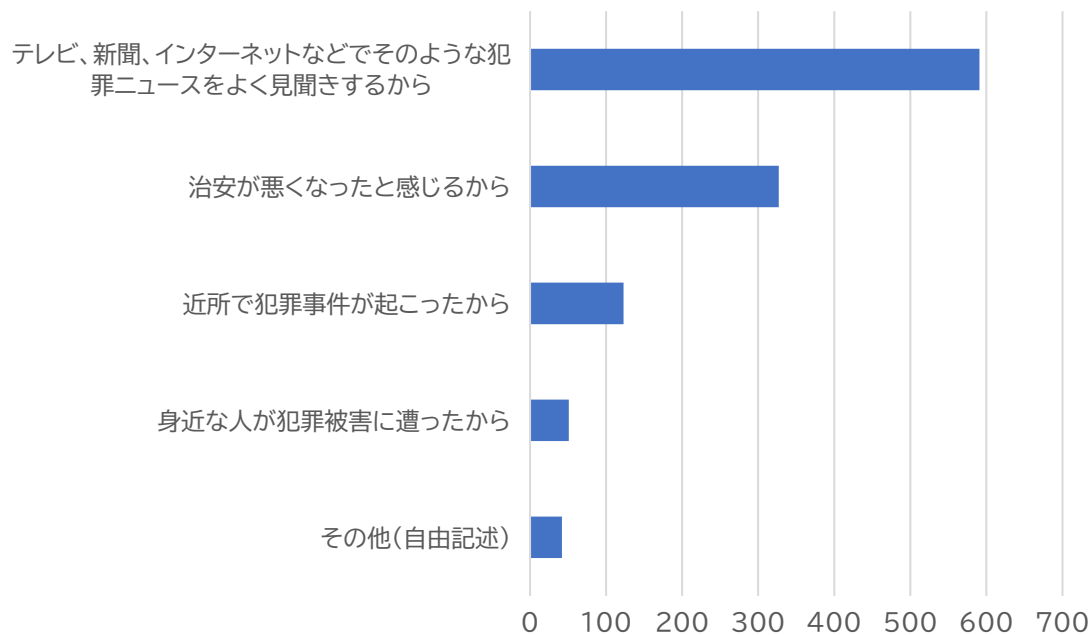
設問5:日常生活において、何らかの犯罪被害に遭うのではないかと不安を感じることがありますか。



いつも不安を感じる (設問6へ)	81
時々不安を感じる (設問6へ)	606
あまり不安を感じない (設問7へ)	231
全く不安を感じない (設問7へ)	15

- いつも不安を感じる (設問6へ)
- 時々不安を感じる (設問6へ)
- あまり不安を感じない (設問7へ)
- 全く不安を感じない (設問7へ)

設問6:その理由はなんですか。(最大3つまで)



設問6 その他（自由記述）の具体的内容
g-mail の不正ログインでセキュリティ設定を変更したところに、リフォーム詐欺と思われる人物が実際に訪問に来たので、強盗の下見に来たのかと気になっている。
外国人が増えているから。特に中国人による迷惑行為が話題になる機会が多い。
空き巣未遂にあったから
街中でマナー違反の車をよく見かけるので、いつ何時自分が巻き込まれるかわからないと思うから。
自分が実際に痴漢や空き巣被害にあったり、子供連れで歩いていたら追いかけられたりしたことがあるから。
日々犯罪の進化が著しく、予想外の犯罪が増えていると思うから
実際駐車場に停めていた車にボールか何かでこじ開けられそうになった傷が何ヶ所が見つかったため。
親族に過去暴力を振るわれことがあるから。
外国人の犯罪もよく聞くので、外国人が近くに住んでいると偏見なのはわかっているが不安を感じる。
犯罪被害者支援に関わる仕事をしている関係で、決して他人事ではないことを知っているから。
自身が痴漢にあったことがあるため。 子供もいるので心配なことは結構あります。
自分自身や子どもたちが虐待やDV に遭っていたから。
近所ではないが近くで強盗あり、という情報があったり、新聞で犯罪のニュースを読むと、自身も被害者になるかもしれないから気をつけようという危機管理意識が働く
自分が女性であること、小さい子どもがいることで、男性よりは標的になりやすい立場だと感じるから
女性や子どもに対する性被害が圧倒的に多い（検挙されていない件も含めて）にもかかわらず、諸外国と比べ刑罰が緩かったり、世間の関心が向いていないと感じる。社会全体を挙げて撲滅に取り組むべきはずなのに、その姿勢も感じられない。アダルトコンテンツなども女性や子どもを痛めつける内容が少なからずあるのを耳にするが、青少年の頃からそういったものを見聞きしていて、価値観が歪まないわけがないと思う。もちろん全ての男性がそういった犯罪心理を持っているわけではないことも重々承知しているが、正直すれ違った人がそのような思考を持った人間とも限らないので、日常生活を送る上でかなり警戒してしまう。警戒しないで暮らせる社会であればよいと思う。
積極的に情報収集をしていなくても、侵入盗や変質者などの増加のメールや LINE が直接届くから。より身近に感じて心配になります。

Instagram などの SNS の投稿を観ることが多いが、デマなのかわからないけれど中国人による臓器売買目的の誘拐が最近話題になっている。テレビや新聞ではほとんど報道されない。SNS の情報が偏っている可能性はあるけれど、自分の知らないところでそうした事件があるということ、もう他人事ではないのかな....と不安になることがあります。
自分が被害にあったから
短期間に外国人移民を大量に受け入れ川口市ではレイプ犯人のクルド人が不起訴 治安が悪くなり住めなくなった市民が市から転居
身内に殺人未遂事件を起こして逮捕した人がいて、実際に私の家にもその人が家に来たから 近隣に外国人が異常に増えてきたことや、トラブルを起こす日本人が越してきたこと、高齢化による痴ほう症や認知症とみられる住民が増えてきたこと。
中学生の頃、朝の登校時に痴漢にあったことがあるため。
20 年位前、知立市のアパートに住んでいる時空き巣と鉢合わせたことがあり、安城市に引っ越してから車の盗難に遭ったり、新しく買った車のカーナビを盗まれたりしたので、気が抜けない。
外国人が増え、日本文化や秩序を知らない輩が多くいる。また、戦後教育の不備で不埒な輩が増えている。
子どもが大きくなってきて子ども活動範囲が広がるなど、自分の身を含め自分の目が届く範囲だけ守ればよいという段階をすぎて、守り切れるか不安になることがある。
報道や SNS でニュースを見ると時々感じる
子供や大人の連れ去り人身売買があるとされているから
街灯が少なく、道を歩く際に道が暗く感じる。
強盗や空き巣被害の話を知り、回覧板でも被害件数を周知しているため。
近所に性犯罪者が住んでいるから子供が心配
小さい子どもがいるから
市内外での不審者情報を見聞きする事が増えたから
近くに空き家住宅があり、ごみがよく落ちていて治安の悪化を心配します。
自分が犯罪被害に遭ったから。
自民党に情性で投票する人や屁理屈言って選挙にいかない人が多いから。 いろいろなことに、あまりにも無関心な人が増えれば増えるほど、犯罪者にとって都合の良い世の中になっていくから。
今年、子供が小学校へ入学。 ニュースなどで陰湿ないじめの話を知ります。また昔と違い、SNS などによって学校内だけではなく、日本中世界中の人と気軽に繋がってしまうことで、犯罪に巻き込まれることを心配しています。

帰宅時、安城駅から自宅に向かう道中、後ろから来た自転車に乗った男の抜き去り際に胸を触られた経験があるから。

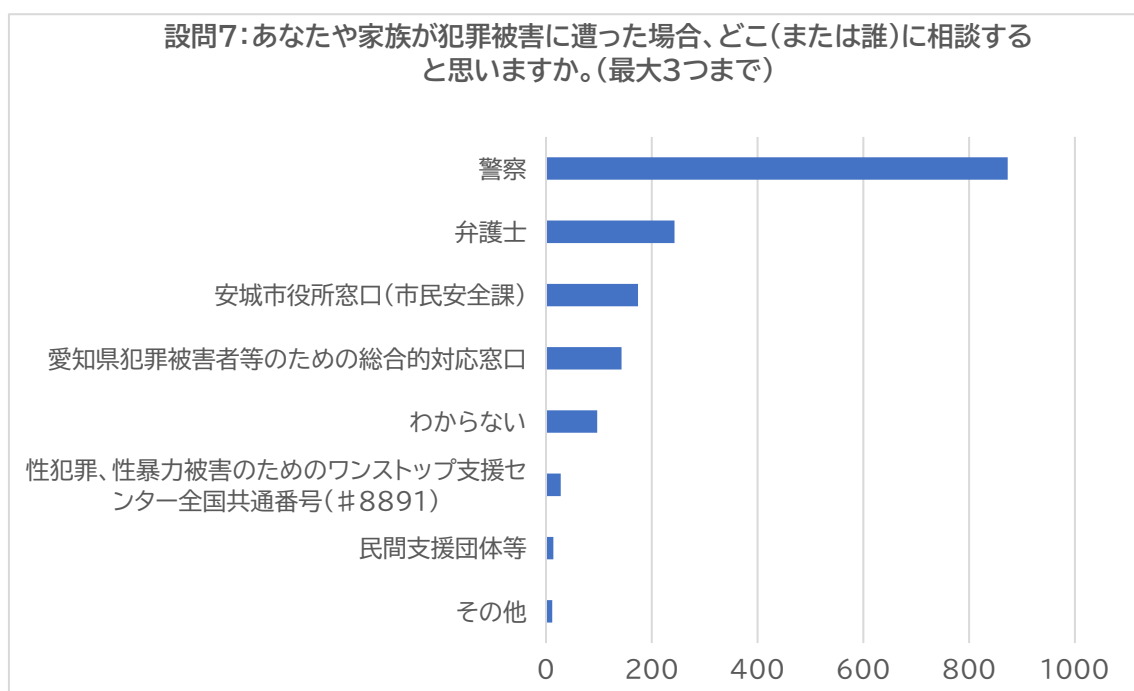
自宅の二階の窓の鍵に近い部分にひび割れを見つけたことがあるから。

今となっては使えない扉が、こじ開けられていたから。

不審な人を時々みかけるから。

子供が産まれた事で子供が何か犯罪に巻き込まれたり、万が一でも加害者側に立ってしまう事があるのでは無いかと思うようになったからです。

外出先で外国人が固まって自国の言葉で話していると、声が大きい事もあって怖いです



設問7 その他の具体的内容

インターネットでどこに相談するべきか調べてでてきたところ

会社の福利厚生相談先

家族、友人、市役所の民生課

家族の住む名古屋市緑区の相談窓口

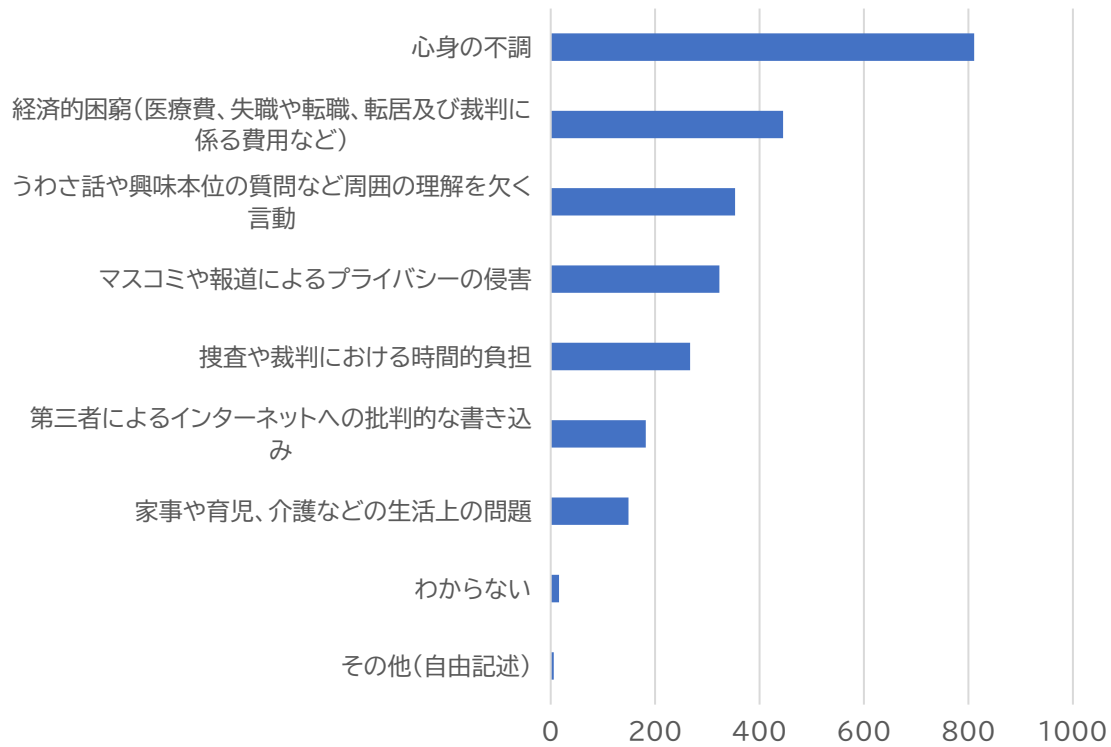
小学校(被害者が子どもの場合)

職場の人や友達

親族

「子供がマンションの入口で知らない年配の男から、猥褻な言葉を投げかけられた」と、学校に連絡をしてから、警察に一応話しました。小中学校は、児童生徒に何か起きた時、すぐにメールで通達されるので、まずは学校に連絡しました。

設問8:犯罪被害者等は被害後も様々な問題に直面すると想定されます。
どのような問題があると思いますか。



設問8 その他の具体的内容

犯罪者の逆恨み

自分の言いたいことなどが、きちんと相談者に伝わるかどうか。

上記設問すべて当てはまる。

犯罪の種類によってすべての問題が当てはまると思う。選べない。

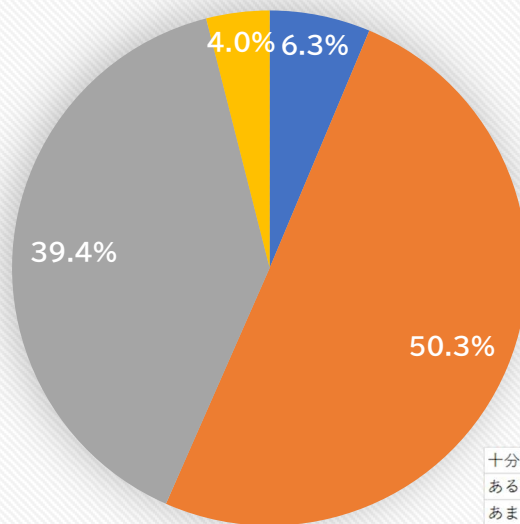
実際、全てが具体的に相手を罰せられるわけではなく、被害者がモヤモヤやイライラを抱えるだけだと思う。

私が受けた被害は3回とも、相手は分かりません。

子供に関しても、女兒が特に男の大人に相對する事は難しく、子供から「そんな話はやめてください」と相手に伝える事はできず、それよりも前にとにかく逃げてと教えています。

子供は必要以上に全ての大人を怖がるようになるし、良い事なしです。

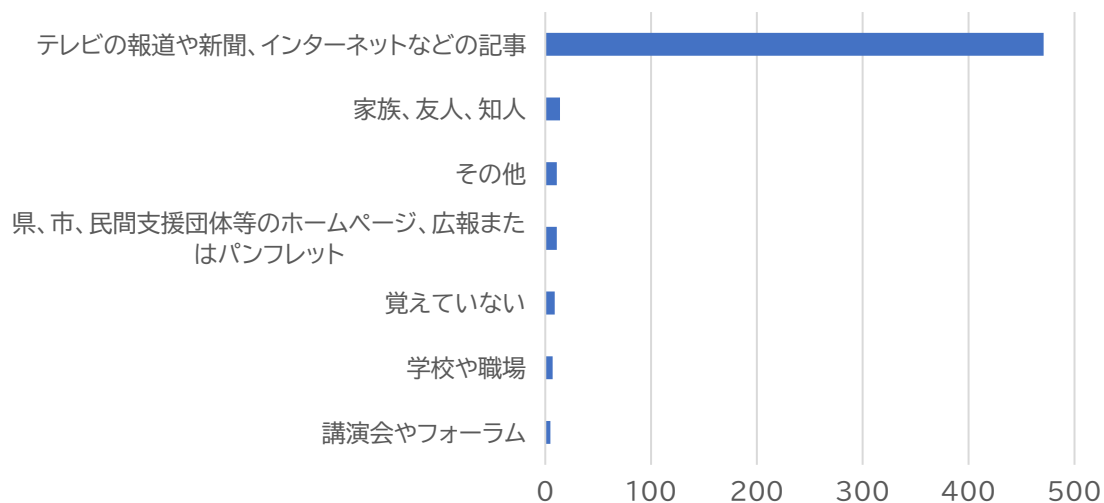
設問9:犯罪被害者等が前問のような二次被害にも苦しめられているということについてどの程度知っていますか。



十分知っている (設問10へ)	59
ある程度知っている (設問10へ)	469
あまり知らない (設問11へ)	368
全く知らない (設問11へ)	37

- 十分知っている (設問10へ)
- ある程度知っている (設問10へ)
- あまり知らない (設問11へ)
- 全く知らない (設問11へ)

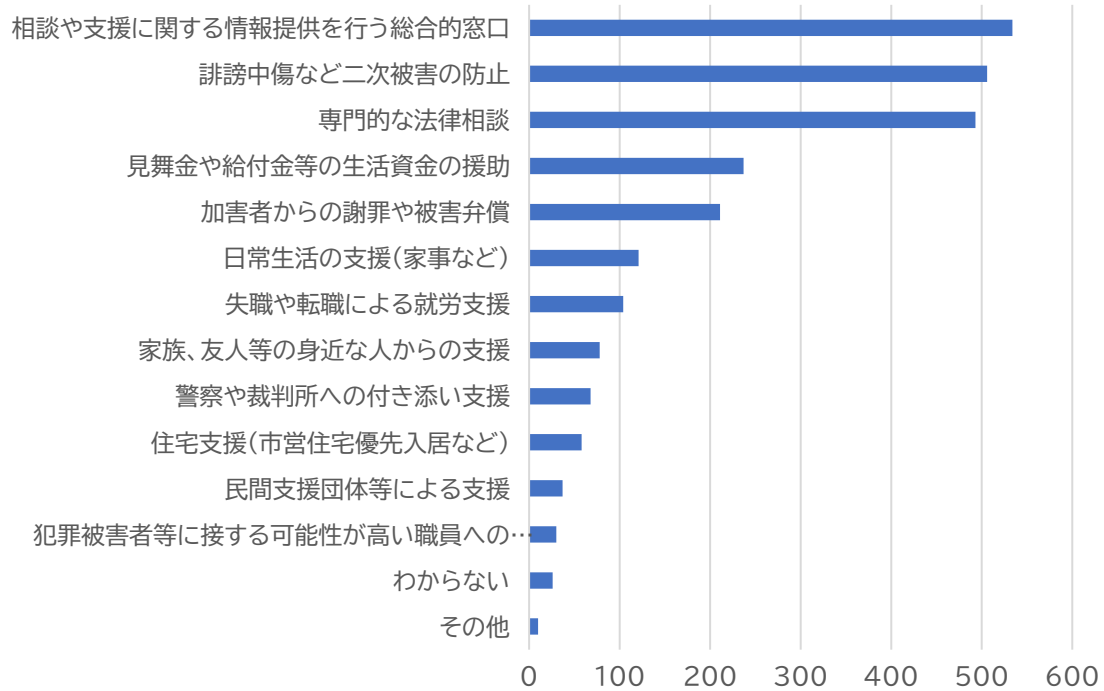
設問10:その状況を知ったきっかけはなんですか。



設問10 その他の具体的内容

仕事柄	SNS
事実を元にした小説、関連書籍	保護司
ドラマや本の内容からだったり、自己体験からだったり。	
自分が被害にあったのは15年ほど経っているのですが、それから背後が余計気になるようになりました。	

設問11:犯罪被害者等支援として重要と思うものはなんですか。



設問 1 1 その他の具体的内容

精神的支援

心身の不調で病院にかかる場合の費用負担

犯罪者への罰則を厳しくする。日本は犯罪者への刑が軽すぎる。

上記設問すべての対策が必要。3つなんてけち臭い考え自体が罪。

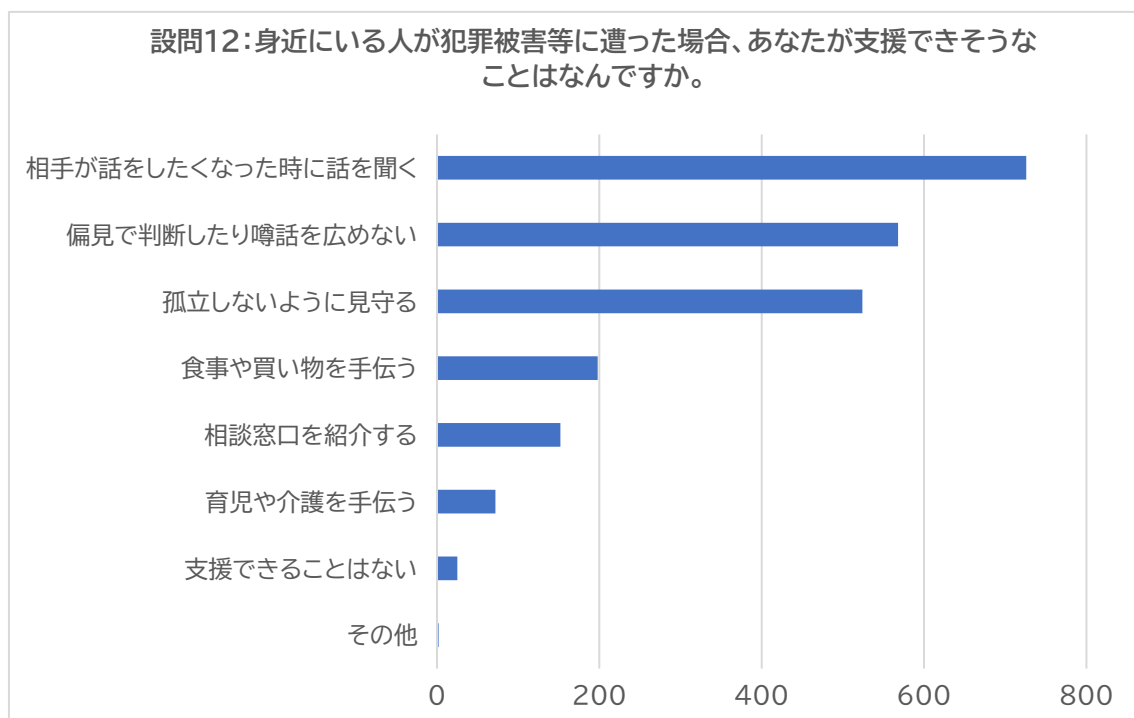
専門家によるカウンセリング等、心のケア

(2次被害を受けないための)被害者を特定されないための情報管理

まずは日本人に限った支援をしっかりやるべきだと思います。

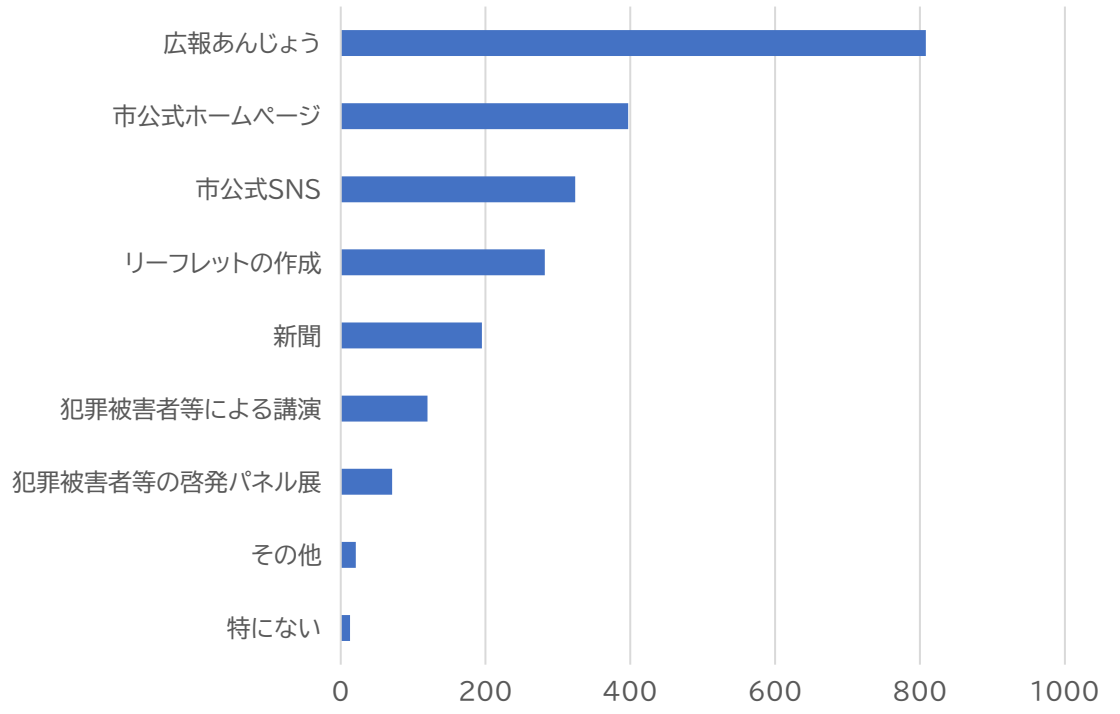
被害者が安心安全だと理解するまで、根気良く話をただ話を聞いてあげる人がいつでもすぐそばにいる事が大事かもしれない。

特に必要はない



設問12 その他の具体的な内容
何が出来るかはケースバイケース。上記に当てはまるものが該当すれば考えてあげたい。
協力できる事を教えてもらい、支援する

設問13:犯罪被害者等支援制度を周知するにあたり、どのような媒体が効果的だと思いますか。



設問 13 その他の具体的内容
テレビ CM、WEB、SNS（LINE 等）
YouTube
回覧板や防災ラジオを使った広報
ポスターやチラシ学校配布
学校や会社など、ある種避けられない状態を作るべき。ただ講演がある、応募やチケット購入で視聴となると行かない。
人。例えば相談されやすい警察や学校の先生や公民館などにいる方などを通じて直接でなくても対象の方の耳に入るような周知を率先的にしておくとか。
不審者対策で使われる睨み目ポスターのようにどこにでも掲載出来るポスターの設置
駅の張り紙やつり革広告
市としてできることは予算的にも限られるため国または県レベルで統合的に周知すべき
政治や行政に関わる者が、犯罪やそれに類すことをすれば、直ちに処罰される国にすること。
短編映画
駅、バス、人が集まる場所への掲示、つり革広告
教育機関等で犯罪被害者の方に憶測や SNS で得た不確かな情報などで噂話や誹謗中傷をしないように講演を行う

設問14 犯罪被害者等支援について、感じることや考えること等をご自由に記載してください。
犯罪被害者等支援のための制度があることを知りませんでした。被害に遭った際にそのような支援があることを知っておくことは、実際に自分や身近な人が被害に遭った際に、安心だし活用できると思うので、たくさんの人に周知していくことが大切だと思いました。
支援内容として、何が適切なのか勉強不足でわからないが、経済的支援は他の仕組みである程度補填出来る可能性があるが、法的な支援、心理的な支援は公的な力が必要と考えます。
普段は他人事として自分には無関係でいて、当事者や身近な人が巻き込まれて初めて問題に直面すると思う。 普段から体験例など情報に触れて理解を深めたい。
安城自動車学校で、被害に遭われた方々のパネル展を年に数回行っていると思いますが、市としても同様の取り組みを行って（共同開催等）広く市民に知ってもらう事もよいと思います。
マスコミの取材等からの一時的な避難する場合の支援（ホテル代金の金銭的な援助、市営住宅の貸し出し、一定の日数の期限を設けて）があると良いのではないかと思います。
助けを求めやすい環境作りが必要だと思います。 毎回広報に掲載するなど、日頃から目にしていると、いざという時にどこに相談したり助けを求めることができるかがわかると思います。 現状、あまり目にしないのでいざという時にどうしたらいいのかわからないです。
自分自身が犯罪被害者等の問題について理解できてない事が多いです。 広報等で周知していただき理解したいと思います。
支援について詳しく知らない方がまだまだ多いと思うので、色々なところで紹介をして人目に付くようにすると良いかと思います。
犯罪被害者が抱える問題はそれぞれ異なるため、しっかりと被害者の話を聞き必要な支援を行えるようにする必要があると考えます。
被害者等支援を行うのはもちろんのこと、犯罪を防ぐための対策をしっかりと行うべきだと思う。
幸い、身近に犯罪被害者はいませんが、日常的にメディアを通して、いつ何時自分が巻き込まれてもおかしくないなと感じています。被害に遭ったときの窓口が市にあることが知れて少し安心しました。実際にどんな流れで支援をしてくれるのか、知っておけたらいいなと思いました。
どこで被害に遭うかわからない時代で、TVのニュースなどを見ると、被害者やご家族が大変そうだったり、加害者も被害者もネットで色んなことを言われたりしているので、公的な機関で被害者を支援出来るのが良いと思います。
ある日突然起こること、どうしたら良いかわからない時にまず話を聞いてくれるところがあることが大事かと思います。

支援がある事を全く知りませんでした。どのような支援があるのか、どこに相談すれば良いのかなど自分自身で調べてみようと思います。
いざ被害に遭った時に本人は冷静に判断できず精神的に正常ではなくなってしまうので、支えてくれる人が身近に居てくれるだけで安心しますので、市などで心から寄り添ってくれる人の育成を望みますし、そういう場があることをもっと知らせてほしいと思います。あまり他人にも話せないこともあるので守秘も願いたいですし、人に聞かれない場所も作ってほしい。
誰もが当事者になる可能性があることから行政の支援が必要であり、頼ることができるように様々な仕組みを作っておくべきと思う。
最近では SNS などの普及で被害者側も非難されるケースがあるので、しっかりと被害者を守る体制は大切だと思います。 1 人の何気ない投稿が広まり人を傷つけることもあるので、そういうことを市民 1 人 1 人が認識している社会になるといいです。
誰でも犯罪に巻き込まれて同じような立場になるかもしれないということを考えないといけないと思います。
身近に相談でき、対応してもらえるような体制づくりが必要だと思います。条例後だけでなくきちんとした対策ができるよう、実効性のあるものを今後期待します。
今まで一度も考えたことはありません。自分には関係ないはどうしても思っています。ですが、今後、生きていくうえで何が起こるか分かりませんし、自分の家族、友達、ご近所さん等、支援を受けたい時がくるかもしれません。こういう窓口、市役所にもあるよ、頼ってね、って情報を知っているだけでも大きいと思います。広報や SNS 等、情報が広まればいいなと思います。
マスコミの過度な報道は被害者の方々のプライバシーを著しく侵害し、心身共に衰弱させるものだと感じる。
被害者になったことはないが、報道だけでは知り得ないことがたくさんあるのだろうと思う。 何の被害者になるかで支援の求め方も変わってくると思う。 市の支援があれば、安心できる一助となるはず。
被害にあってからだと、心身の不調で支援団体などを探す元気が無いと思うので、日常的に見聞きしており、いざという時に思い出せるような宣伝をしておくといいのではと思います。
犯罪にあうことをあまり考えたことがなく今回のアンケートで実際に犯罪にあってその後どう生活すれば良いのか全く分かっていない事に気づいた。 犯罪以外でも何か困ったことがあればとりあえず広報を見れば何か手がかりがあるかもしれないと思った。
身近で犯罪(被害)は起きたことなく、このようなアンケートを通して考える機会が出来ました。

犯罪被害者支援について、調べたときに参考になる情報も大切だが、広報や SNS などの何気なく見るものに情報があるとより多くの人の目に止まり、幅広い世代の人に見識が広がると思う。気になるきっかけを与えられると調べてみようと思ったり、頭の片隅にあることで、自分が被害に遭ってこまった時に思い出して相談できると思います。
以前犯罪被害者のご家族の講演を聞いたことがあります。 実際のお話が聞けてとても参考になりましたが、一般の方はなかなか聞く機会がないと思いますので、そういう場が増えると良いと思います。
過去に被害を受けた事があると心に傷を負い、何年か経過してもふとした事で思い出したりして不安になったりする。 いくら親しい友人でも聞いてもらいたくても話せなかったりするので、第三者に聞いてもらえたほうが話しやすかったり救われた気持ちになれたりすると思います。
はじめてこのような支援があるのを知りました。 大変な思いをされた方たちに支援があると良いと思います。 知らない人が多いと思います。 皆さんにまずは知ってもらいたいですね。
安城市にも支援してもらえる機関があると知りませんでした。もっと世間に知ってもらえるといいと思います。
アンケートに答えて初めて知ったつもりだったことが分かりました。それでもまだ、身近に感じず、身近に感じないと知ろうとしない自分がいることに気付きました。
今まで、身近な人で被害者になった人はいないが、少なくとも、勝手な憶測で物事を判断したりしないように気をつけたいと思っている。
今まで、深く考えたことがありませんでした。身近に起きたら怖いと思いつつ、心のどこかでは自分には関係ないと思っているような気がします。 誰にどのように相談したらよいか全く考えたことがなかったので、窓口があると聞いて少し安心しました。
デリケートな部分があるとは思いますが、ここに相談してください。という場所を知っておくだけでも心の拠り所になるとおもうので、もっとどんな支援をしているか周知してほしいです。
被害者がさらに不幸になってしまう事態を避けるべきであり、手厚く保護されるよう各種サポートが必要であると思います。
二次被害を防止する事がとても重要だと思う。
被害者にしか分からない辛さや思い、状況も様々なので安易に踏み込まず見守る、そして必要に応じて支援していきたい。
誰もが被害に遭う可能性があり、こういう支援があることをもっと周知されるべきだと思う。

自分や周りの人がそのような目に遭ってないのでわかりませんが、そのような支援があることを市民の皆さんに知ってもらったほうがいいと思います。最近では外人の方もいるので英語や中国語など安城市に住んでいる外人の方を割合で調べて日本語以外でも知らせる必要があると思います。SNS 社会なのでホームページなどが良いかと思います。
犯罪被害者支援は今の世の中とても必要な事だと思います
新聞やテレビでよくニュースになっているが、誰にでも被害者になる可能性があり、もし近隣で発生したら静かに見守り、出来る事があれば支援したい。
誹謗中傷を発生させないこと、普通に生活ができる環境作りが大切。
まさか自分が被害者になるなんて、この質問が来るまで考えた事がなかったのですが、被害者にはもちろんなりたくないですが、加害者にも絶対になってはいけないと思いました。どのようにして身を守ればいいのか真剣に考えます。
このアンケートを通じて犯罪被害者の方のあり様とは何かと、また、どの様に接していけば良いのかとあらためて考えさせられました。
被害者が話したくなったら、いつでもただただその話を聴ける人が必要だと思います。
とある犯罪被害者の葬儀に出席した際、報道の自由を履き違えたマスコミの取材態度に辟易した経験がある。 被害者とその家族が何度も傷つけられる様なことは決してあってはならないと思う。
最近、SNS などの普及により事実と違う話を広められるなど、犯罪被害に合われた方がもっと傷付けられてしまうケースがある。被害者、家族を助ける為の公的な支援が必要であると思う。自分になってみないと分からない怖さがあると思う。
知らなかったなので、このアンケートで知る事が出来ました。
高校生の頃痴漢にあったが、誰にも相談出来ずに苦しんでいた。誰でも気軽に相談出来るような場所が出来て有難いです。
身近には、犯罪被害者になった人がいないので、ニュースで見聞きする程度でした。 今回のアンケートで、改めて自分や家族にもその可能性があるんだと思い、情報をもっと知りたいと思いました。 ただ、犯罪が起らないようにする対策をしっかりと行うことがより大切だと思います。
理不尽な二次被害に苦しむ方がたくさんいる事に心が痛みます。
犯罪に自分や家族が巻き込まれたら・・・。今までの日常のあらゆることが崩壊してしまう・・・。もし、そんなことが起こったらパニックになって何もできなくなってしまうでしょう。そんな時にきちんと専門的な訓練を受けた相談員さんがいてくれたら心強いと思います。また、周りにそんな人がいたら、どんな声をかけたら良いのか、どんな手助けができるのかを学ぶ機会があれば良いと思います。

少し質問の意図と違ってしまいかもしれませんが、私自身、偏見の強い病気を持っているため、その事実を隠したり、人に話せず孤立した時期がありました。

事件の被害者に対するマスコミ報道にも多いに疑問を感じます。最悪、引っ越しを余儀なくされるケースもあり、被害者なのにネットで誹謗中傷を浴びることもあるので、犯罪被害者の方を支援していく制度にはとても賛成です。

誰もが安心して暮らせる、そんな市であって欲しいですね。

昨今、犯罪においてマスコミ報道などを見ていると、最大限保護されなければならない被害者の権利よりも、加害者の権利の保護を叫ぶ人権派弁護士や、それに類する市民団体などによる声が大きいくように感じる。

この現状は、間違っていると思うので、犯罪被害者支援に関しては、さらに手厚くしていただきたい。

最近の報道や社会の対応を見ていると、加害者の人権が過度に保護されているように感じます。たとえば、被害者の名前や顔写真が報道される一方で、加害者の顔や名前は伏せられ、個人が特定されないよう細心の配慮がされています。

その結果、まるで被害者のほうが悪いことをした側であるかのような立場に追い込まれ、日常生活すら制限されてしまうケースがあると思います。

本来守られるべきは、被害者の尊厳といつもの暮らしではないかと考えます。

選択肢については3つに絞れないくらい全部重要なんじゃないかと思いました。

自分自身は経験がないので当事者の気持ちはわかりませんが、自分がもし被害者だったらと思うと、まずは気軽に相談できる窓口があることを知っていたいと思います。

そのためにも日頃からの周知活動（若者はSNSが効果的だと思うし、お年寄りには新聞とか広報が効果的なのかな？）（安城市としてはこんな支援をここで受けつけていますというのがわかること）が大事なんじゃないかと思いました。

あとは、当事者になったときに話せるメンタルかどうか大事だと思うので、メールの窓口であったり対面や対話じゃなくても相談できる術があると嬉しいんじゃないかと思いました。